

広げよう



コミュニティの輪

No. 42
2014.3

彩の国コミュニティ協議会
(TEL) 048-830-2819 (FAX) 048-830-4751

彩の国コミュニティ協議会

検索

目次 CONTENTS

- P1 ■ 共助キッズ ~わたしたちの取組を紹介し~
紹介します!~
- P2 ■ 「共助社会づくりに向けた地域の取組」
- P3 ■ 「平成25年度 埼玉県民の日」
■ 「サイコミ君情報局」
- P4 ■ 支援型自動販売機を設置
■ 会員紹介

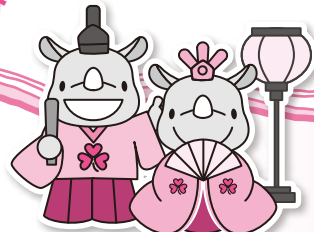
共助★キッズ

~わたしたちの取組を紹介し~

コミュニティ活動は地域の住民や団体、企業等様々な団体のつながりで支えられています。支えているのは大人だけではありません。子供たちも、地域の立派な担い手として活動しています。そんな子供たちの取組を、この「共助キッズ」を通して皆様にお伝えしていきたいと思ひます。

今回は、第45回シラコバト賞を受賞した川島町立ハッ保小学校の取組を御紹介しします。

三世代ふれあいまつり



彩の国コミュニティ協議会マスコット サイコミ君

平成8年、「子供たちを地域ぐるみで育てたい」という思いから、当時の校長の呼び掛けで始まりました。子供と親、そしてお年寄りの三世代がふれあうこのまつりは、毎年10月に開催されます。この活動を通して、子供たちの地域への帰属意識と郷土愛を育みます。

三世代ふれあいまつりの内容

- 教室で模擬店 ● まんじゅう作り
- ふれあいの場『ハッ保茶屋』を開設
- ハッ保太鼓の演奏 など

~まんじゅう作り~

川島の伝統料理を子供たちに伝えるため、老人会女性部の方々が先生となり、6年生の児童とその保護者の三世代で約500個のまんじゅうを作ります。地産地消にこだわり、材料はすべて地元のものを使い、味に違いが出ないよう一つ一つ秤にかけて丁寧に作ります。作ったまんじゅうは『ハッ保茶屋』で振る舞われ、接客も児童が行い、地域の方々と交流を深めます。普段お世話になっている地域の方々への感謝の気持ちをこめて作ったまんじゅうは、毎年好評を博しています。



まんじゅう作り



ハッ保茶屋でおもてなし

参加者の声

■ 蓮見 重人校長先生

子供たちに様々な体験をさせてあげたいです。児童数の減少に伴い、学校だけでできることが限られてきますが、だからこそ地域の力は不可欠です。PTAや老人会及び女性部の方々の支えがあって、あらゆる世代の交流が可能になっているのだと思います。

■ 工藤 柊介君、石坂 明日香さん(6年生)

まんじゅう作りは初めてだったので、うまくできるのか不安でしたが、地域の方々優しく教えてくれたので楽しくできました。太鼓の演奏は、始めはバラバラだったのが、徐々にまとまっていくのを実感できるととても嬉しかったです。

■ 関根 シゲ子さん(老人会女性部)

伝統を伝えたいという私たちの想いと、伝統を引き継いでいこうとする子供たちの想いが繋がっているような気持ちになり、嬉しく思います。子供たちと関わるうちに、こちらが元気をたくさんもらっています。

~ハッ保太鼓~

ハッ保小学校のために創られたオリジナルの太鼓演奏です。地域の太鼓講師を招き、5、6年生の児童が週1回2時間、約1ヵ月かけて演奏を完成させ、発表します。始めはばちの握り方や構え方、リズムの付け方など太鼓の基礎を学び、徐々に全体で合わせる練習をします。10年間受け継がれる伝統ある演奏は、今後も地域の人たちを元気にしていきます。



ハッ保太鼓の演奏



共助社会づくりに向けた地域の取組

～平成25年度協議会活動推進事業費助成金 優先配分事業報告～

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う共助社会づくり事業に対して優先的に助成を行っています。前号(会報第41号)で紹介した吉川市コミュニティ協議会「地域寺子屋事業」のほか、以下の5つの協議会から活動報告がありましたので御紹介します。

行田市コミュニティ協議会 「コミュニティサロンで広げよう共助の輪」

多くの住民が「共助」をテーマに地域のこれらについて考えるワークショップを毎月開催しました。参加者は地域の課題は自分達で解決しなくてはという意気込みで活発な意見交換をしました。市内にある「ものづくり大学」の学生が進行役を務めながら意見を述べるなど、「共助の輪」は更に広がりました。また、地区内にベンチや情報掲示板を設置しその周りを花で彩るなど、世代を超えた交流が出来る空間も創出しました。



コミュニティサロンの様子

蓮田市コミュニティづくり推進協議会 「共に支え合う共助社会づくり事業」

元気な人々が困っている人々を助け、市民が「助け合いと支え合いの地域づくり」を共有するために、20の主要構成団体によるネットワーク会議を開催しました。支え合い活動など具体的な実践活動を目指して、啓発パンフレット「共に支え合う共助社会づくり」を作成し、各団体や市主催の会議で配布しながら協力と実践を呼びかけています。各団体は地域住民や困っている人々への支援や相談の窓口として、自分達のできる事から着手しています。



蓮田市ボランティア連絡会の様子

秩父市自治会連合会 「みんなでつくろう!セーフコミュニティ」

秩父市は世界保健機関(WHO)が推奨する「セーフコミュニティ」の国際認証取得を目指しています。「事故やケガは予防できる」という理念に基づき、救急搬送データ等を分析してリスクの高い人や環境を特定し対策を講じていきます。町会を中心とした地域全体が横断的に協力し、高齢者の安全確保や防犯など課題ごとの委員会で具体的な対策を検討しています。先進事例の講演会や活動状況の報告も行い、共助によるまちづくりの必要性について市民の理解を深めました。



セーフコミュニティに関する講演

東秩父村コミュニティづくり協議会 「帯沢たすけあい集会」

毎月、村の広報紙の配布時に高齢者宅を訪問し、声かけ見守り運動を実施しました。また、防災の日には帯沢地区で「帯沢たすけあい集会」を開催し、87人の参加者が消火器・車イス・AEDの使用体験や炊き出しなど、災害時を想定した訓練を行いました。東日本大震災での救援活動経験者の講演も聞き、参加者は改めて災害の怖さを実感しました。



車イス体験の様子

寄居町コミュニティ協議会 「共助のための防災カードづくり事業」

緊急時の家族や親族の連絡先、避難場所、約束事を記入する「防災カード」を作成し、町内全地区へ毎戸配布しました。お財布やカバン、非常持ち出し袋等に入れていただくことで、震災等に見舞われた際に安否確認を円滑にし、二次災害を防ぐことを目的としています。この防災カードをきっかけに、家族で防災や減災について話し合ったという声も寄せられています。



防災カード

平成25年度 埼玉県民の日



県民の日記念式典

去る11月14日(木)、埼玉会館(さいたま市)にて「平成25年度 県民の日記念式典」が開催されました。知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰のほか、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 上田 清司 埼玉県知事から賞状、副賞の楯が授与されました。

第45回 「シラコバト賞」

シラコバト賞は、日ごろ身近なところで住みよい地域社会を実現するため、積極的な実践活動を続けている個人や団体の功績を称える表彰です。今年度は個人131名、団体57の計188件が受賞しました。受賞者を代表して4名の方に登壇していただきましたので、御紹介します。

【心のふれあいを深める活動】 グループ いわざくら(横瀬町)	■ 近隣住民の見守りや共助などの地域の支え合い活動を行っている。
【健やかな心身を育てる活動】 後藤 芳生市 氏(本庄市)	■ 子供たちの心身の鍛練と人間愛を育む活動に熱心に取り組んでいる。
【住みよいふるさとをつくる活動】 杉戸中妻防犯パトロール隊(杉戸町)	■ 地域の見守り活動に尽力し、児童の下校時間帯に通学路で立哨を行っている。
【郷土を知り、郷土を想う活動】 新井 司郎 氏(熊谷市)	■ 妻沼地域の祭りの運営に携わり、地域文化の伝承、青少年の健全育成に貢献している。

平成25年度 「あしたのまち・くらしづくり活動賞」

あしたのまち・くらしづくり活動賞は、住みよい地域社会を目指し、地域が直面している課題に自ら取り組み、多大な成果をあげた住民団体・企業に贈呈されるものです。本年度は県審査により、優秀賞を3団体が、奨励賞を3団体が受賞しました。

優秀賞

NPO法人子ども大学かわごえ(川越市)

- 小学生に未来志向型教育を行う社会教育活動

クールシェアくまがや実行委員会(熊谷市)

- エアコンを消して涼しいところに集まる

芝浦工業大学三浦研究室(さいたま市)

- 自治会との協働活動「住快環プロジェクト」

奨励賞

NPO法人 新座子育てネットワーク(新座市)

- 子育て仲間で支えあい保育の仕組み

NPO法人 ふじみ野明るい社会づくりの会(ふじみ野市)

- いい顔見たい、介護未然防止、市民活動

陽だまりの会(さいたま市)

- 町内の「困っているお年寄りに手助けを」

活動内容の詳細はこちら

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/sainokunikomikyotop/>

彩の国コミュニティ協議会

検索

また、県民の日に併せて公開となった埼玉県庁の庁舎内でも様々なイベントが実施されました。「サイコミ君」をはじめとする人気の「ゆる玉応援団」も集合し、大勢の方の笑顔でいっぱい賑やかな一日となりました。

来てくれて
ありがとう♪

「サイコミ君」 情報局☆☆

彩の国コミュニティ協議会のマスコット「サイコミ君」は、平成25年度も大活躍!! 昨年に引き続きエントリーした「ゆるキャラ®グランプリ2013」では782票を獲得し、総合982位でした。

応援してくださった皆様、ありがとうございました!

11月23日(土)には「ゆるキャラ®さみっとin羽生」に参加し、全国のキャラクターや、ゆるキャラファンの方々など、多くの仲間たちとふれあうことができました。

くまモンと
おともだちに
なっちゃよ!





設置に御協力ください!

☆ふじみ野市立市民交流プラザ「フクトピア」に支援型自動販売機を設置☆

彩の国コミュニティ協議会と毎日興業株式会社(さいたま市)は、2月3日(月)に「コミュニティ活動支援型自動販売機」の設置に関する覚書を締結し、同社が管理するふじみ野市立市民交流プラザ「フクトピア」に支援型自動販売機が設置されました。彩の国コミュニティ協議会マスコット「サイコミ君」とふじみ野市PR大使『ふじみん』が描かれた可愛らしいデザインで、集まった子供たちに大人気でした。今後、売上の一部を御寄附いただき、市町村コミュニティ協議会への助成を通じて、県内各地で行われるコミュニティ活動に役立てられます。



コミュニティ活動支援型自動販売機設置覚書締結式

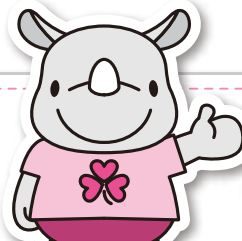
「コミュニティ活動支援型自動販売機」は設置者と当協議会が覚書を締結し、売上の一部を寄附いただくものです。設置者のマスコットやマークを入れることもできます。設置者に設置費用の負担はありません。いただいた御寄附は県内各地で行われるコミュニティ活動の推進に活用させていただきます。設置いただける企業や団体を募集していますので、ぜひ御協力をお願いします!



支援型自動販売機

■ お問い合わせ 当協議会事務局 TEL 048-830-2819

会員紹介



広げよう
コミュニティの輪

本田技研工業(株) 埼玉製作所

Hondaは企業活動及び社会活動をとおり、「喜びの創造」、「喜びの拡大」、「喜びを次世代へ」の3つのテーマの実現を掲げ、世界中の人々と喜びを分かち合い、存在を期待される企業をめざしています。これらのテーマに沿って、「地球環境を守る活動」、「地域との交流活動」、「次世代育成支援活動」、「災害支援」などを行っています。

「地球環境を守る活動」は、環境にやさしい車作りはもちろんのこと、「植林・森林保全活動」を実施し、積極的に環境保全に努めています。

また、工場見学や夏祭り、駅伝大会等の施設開放型イベント、安全教室を行ったり、公式野球部や公式陸上競技部に対し地域をあげて応援・支援していただいたりすることで、「地域社会との交流」を深めています。

「次世代育成支援活動」も積極的に行っています。国内の各事業所に社会活動推進センターを設置し、従業員・OBのボランティアが、出前型環境授業である「環境わごん」やダンボールクラフト作りを通してものづくりの楽しさを教える「ドリームハンズ」を行っています。また夢・挑戦・創造そして交流を育む「子どもアイデアコンテスト」なども行っています。

ほかにも、東日本大震災等の災害復興支援も行っており、被災地域の自立支援事業に対する支援や製品の寄付、従業員ボランティアによるサポートなどを行っています。

「これまでも、これからも」美しい地球を次の世代に手渡す為にHondaはチャレンジを続けます。

本田技研工業(株) 埼玉製作所 ホームページ
<http://www.honda.co.jp/saitama/index.html>

本田技研工業(株) 埼玉製作所

検索



自然の素材を通し、地球環境について考えてもらう「環境わごん」